

天竜川水系 諏訪圏域河川整備計画 概要版

「河川整備計画」は、平成9年の河川法改正により創設された制度で、計画期間内に実施を予定している河川整備の内容等を明示し、その内容を広く地域の皆様にご覧いただくためのものです。

「諏訪圏域河川整備計画」には、「河川整備の実施に関する事項」として、従来から進めている河川改修、さらには今後、県として進めたいと考えている河川整備の予定を記載してあるほか、河川の維持管理に関する考え方、河川情報の提供や地域の皆様・関係機関との連携に関する考え方など広範囲な内容を記載しています。

各河川の整備予定箇所等の詳細な部分については、本編をご覧ください。この概要版では、今回の河川整備計画の考え方を中心に骨子を御紹介いたします。

諏訪圏域河川整備計画の概要

第1章 対象圏域と河川の現状

◆対象圏域の概要

天竜川水系は、長野県のほぼ南半分を占めており、地域性から3圏域（諏訪圏域・伊那圏域・飯田圏域）に区分される。このうち、当諏訪圏域は水系の最上流部に当たる圏域で、岡谷市、諏訪市、茅野市と諏訪郡下諏訪町、富士見町、原村の3市2町1村で構成されている。

◆圏域内河川の現状

諏訪圏域内の河川は、盆地周辺の山間地では急峻な溪流を形成し、諏訪湖に流入する平地部では流れが緩やかになっている。その中間部には扇状地が形成され、上流部から発生する土砂により天井川となっている河川も多く見られる。

諏訪湖周辺の地域では、諏訪湖や中小河川の氾濫により幾度となく被害を受けてきており、特に昭和58年9月の台風10号による洪水被害は、諏訪湖や上川、宮川等の氾濫により死者2名、全壊家屋14戸、家屋浸水3,684戸と大きな被害が発生した。また、近年においては、平成18年7月豪雨により、諏訪湖が計画高水位を上回り、2,582戸の家屋が浸水する被害が発生している。さらに、近年増加している局所的豪雨により、特に岡谷市街地において、浸水被害が頻発しており、平成25年8月15日の集中豪雨では、塚間川、大川の沿川において、44戸の家屋等が浸水する被害が発生している。

第2章 河川整備計画の目標に関する事項

◆計画対象区間

今回の河川整備計画の対象となる河川は、諏訪湖に流入する河川とそれに合流する35河川で、延長約241km、流域面積約531km²である。なお、天竜川の岡谷市分（釜口水門～辰野町界）については、下流域となる伊那圏域河川整備計画に記載する。

◆計画対象期間

本整備計画の対象期間は、河川整備の実施に関する事項に記載されている河川整備が一連の効果を発現する期間として、今後20年間とする。

◆洪水による災害の発生防止又は軽減に関する事項

圏域内の河川のうち、沿川の人口や資産の集積状況、現況の流下能力、災害の発生状況を踏まえ、洪水による被害が発生した河川、もしくは発生の危険度が高い河川、想定される被害の大きな河川として、上川、砥川、新川、武井田川、鴨池川、舟渡川、十四瀬川、塚間川、大川、承知川、諏訪湖を優先的に整備する。整備にあたっては、各河川で想定した規模の洪水を安全に流下させること、また、諏訪湖及び舟渡川においては、戦後最大規模相当となる平成18年7月豪雨によって発生した程度の浸水被害を解消することを目標とする。

第3章 河川整備の実施に関する事項

◆河川工事の目的、種類及び施工の場所

ここに記載する河川は、河川整備計画の目標を実現させるための具体的方策として計画的な河川整備を施行する河川とする。

表-1 優先的に整備を行う河川に関する内容(治水)

河川名	治水安全度目標	施工延長等	河川工事の種類
上川	1/50	河道改修: 18,500m	築堤、河道拡幅、河床掘削、橋梁架替、護岸等
砥川	1/50	河道改修: 2,800m	築堤、河道拡幅、河床掘削、橋梁架替、護岸等
新川	1/30	河道改修: 2,900m	築堤、河床掘削、橋梁架替、護岸等
鴨池川	1/10	河道改修: 1,000m	築堤、河床掘削、橋梁架替、護岸等
武井田川	1/10	河道改修: 1,000m	築堤、河床掘削、橋梁架替、護岸等
舟渡川	平成18年7月豪雨対応	河道改修: 1,640m	河床掘削、護岸等
承知川	1/30	河道改修: 900m	築堤、河床掘削、橋梁架替、護岸等
十四瀬川	近年浸水被害発生時対応 ^(注1)	河道改修: 380m	河床掘削、ボックスカルバート、護岸等
塚間川	1/30	河道改修: 670m 調節池: 2箇所	調節池、河道拡幅、河床掘削、橋梁架替、護岸等
大川	1/30	河道改修: 950m 調節池: 2箇所	調節池、河床掘削、橋梁架替、ボックスカルバート、護岸等
諏訪湖	平成18年7月豪雨対応	築堤工: 130m 水門工: 2箇所 耐震補強: 1箇所	築堤、護岸、水門工等

(注1) 上流工区(岡谷市中屋地区)は、近年浸水被害発生時(平成11年6月豪雨)対応。
下流工区(JR中央本線渡河部付近)は、将来計画(1/30)を念頭においた整備を行う。

表-2 優先的に整備を行う河川に関する内容(環境)

河川名	整備目標	施工延長等	河川工事の種類
諏訪湖	諏訪湖水質保全計画における目標値	浚渫工: 0.07km ² 湖岸整備: 約3,200m 水質改善対策工: 1式	しゅんせつ、水質改善対策工等

◆河川の維持の目的、種類及び施行の場所

- 土砂の異常堆積や立木が治水上の支障となる場合は、必要に応じて学識経験者の意見を聴く等、環境にも配慮しつつ、堆積土除去、立木伐採、草刈り等の必要な対策を河川愛護団体等と協力して行う。
- 河川モニター・関係市町村をはじめ、各関係者との連携を図り、河川施設の異常・不法投棄の早期発見に努め、河川管理上支障となる場合は速やかに必要な対策を行う。

第4章 河川情報の提供、地域や関係機関との連携等に関する事項

◆河川情報の提供に関する事項

- 雨量・水位情報をリアルタイムで収集し、関係機関に提供することにより、水防活動等の支援を迅速に行う。また、諏訪湖については、洪水予報河川に指定されており、長野地方気象台と共同で洪水予報の迅速な発表を行うとともに、関係機関に迅速かつ確実な情報伝達を行い、洪水被害の軽減を図る。
- ハザードマップの周知を図り、超過洪水に対し被害の防止・軽減を図る。
- 水害発生が予想される場合には、サイレンや広報車による警報を行い、被害発生防止・軽減に努める。
- パンフレット配布やHP等を通じ、河川事業の紹介等河川に関する情報提供に努める。

◆地域や関係機関との連携等に関する事項

- 水防団が迅速・的確な水防活動を行うため、河川管理者と水防団が協働して洪水時の対応を行う。
- 治水上影響が大きい土地の改変を伴う開発行為については、関係機関と連携して流出量の低減に努める。
- 地域住民の防災意識を高めるため、防災情報の提供、防災教育・防災訓練等を積極的に行う。
- 河川愛護団体、アダプトプログラム等の支援・拡充を通じ、住民・企業等と新たなパートナーシップを形成する。
- 塚間川流域においては、近年たびたび浸水被害が発生しているため、河川改修を着実に進めるとともに、貯留浸透施設や岡谷市が行う公共下水道(雨水渠)等と連携を図り、流域全体で総合的な治水対策に取り組んでいく。